

## 平成 29 年 (2017 年) 度 市立札幌病院一括公表

## 1 インシデント

レベル	件数		説明
	28 年度	29 年度	
レベル 0	2259	1933	○実施される前に気づいた事例
レベル I	1803	1569	○実害がなかった事例
レベル II	529	599	○処置や治療を行わなかった事例、観察の強化、確認のための検査の必要性が生じた事例
計	4591	4101	

## 2 アクシデント

レベル	件数		説明
	28 年度	29 年度	
レベル III a	229	234	○簡単な治療や処置を要した事例 (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与等)
レベル III b	13	17	<p>○濃厚な処置や治療を要した事例 (バイタル*1の高度変化、人工呼吸器の装着、入院日数の延長、外来患者の入院、手術等)</p> <p>(事例の概要)</p> <p>ア) 全身麻酔での手術中および手術後に、患者の透析治療用に作られた自己血管内の血流が低下し、再作成を行った。(他、同様例 2 件)</p> <p>イ) 手術後 3 日目に腹部に挿入していた排液用チューブが自然抜去したため、手術で再挿入を行った。</p> <p>ウ) 止血機能が低下している患者の胸水検査を行う際に、穿刺した針で隣接する臓器を損傷し、出血したため手術を行った。</p> <p>エ) 外来患者が、他患者の車いす移乗を介助していた職員を避けようとして転倒し、右腕骨折で入院となった。</p> <p>オ) 入院患者が転倒し、骨折したため手術を行った。(他、同様例 5 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーテンを開けようとしてバランスを崩した</li> <li>・スリッパを履いて廊下で滑った</li> <li>・歩行器で方向転換する時にバランスを崩した など</li> </ul> <p>カ) 数年前に挿入した「皮下埋め込み型中心静脈ポート」*2のカテーテルが断裂したため、血管内に器具を挿入してカテーテルを取り除いた。</p> <p>キ) そけい部の動脈からカテーテルを挿入して血管の検査を行った際に、動脈を損傷したため止血処置を行った。(他、同様例 1 件)</p> <p>ク) 体調が優れず、ベッドの背もたれを利用した座位の姿勢で食事中、誤嚥して、呼吸困難となり、緊急処置を行い回復した。</p> <p>ケ) 手術の創を閉じた後に、細い動脈の結紮が未処理であったことに気がつき、直ちに創を開いて処置をおこなった。</p> <p>(主な再発防止への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透析患者が全身麻酔で手術を行う際は、麻酔の影響で透析用血管の血流変動があるため閉塞しやすいことを事前に説明する。また、手術前から透析用血管の血流が不良な場合は、腎臓内科、心臓血管外科等に相談する。</li> <li>・混雑する場所で車椅子の貸出や介助を行う際は、特に人の通行に注意する。</li> <li>・入院患者には、スリッパの使用を避けるように「入院のご案内」に基づいて説明する。</li> <li>・「皮下埋め込み型中心静脈ポート」は、不要になった時点で早期に抜去する。</li> <li>・手術前のタイムアウト (患者名、術式、予定出血量などを手術チームで呼称確認する場面) で血管処理の情報共有を行う。</li> </ul>

レベル	件数		説明
	28年度	29年度	
レベルⅣ	2	1	<p>○障害が残った事例 (事例の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査のため静脈に注射針を刺した際に、患者が右手のしびれと痛みを訴えた。直ちに針を抜き、医師の診察を受けて帰宅した。約2か月後の受診時に右手のしびれと痛みを訴え、筋力低下も認めた。(現在、内服治療中)</li> </ul> <p>(主な再発防止の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅後、しびれや痛みなどの神経症状が改善しない場合は、翌日にでも病院に連絡することを説明する</li> </ul>
レベルⅤ	3	2	<p>○死亡となった事例(原疾患の自然経過によるものを除く) (事例の概要)</p> <p>ア) 他の疾患で治療中、腸の通過障害が起こり、急激に循環不全<sup>*3</sup>が進行して死亡となった。</p> <p>イ) 胸腔に挿入していたチューブを抜いた際に、抜いた箇所からの出血と喀血が起こり、出血による循環不全で死亡となった。</p> <p>(主な再発防止の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腹部の手術歴が無い患者でも、重篤な腸の通過障害を起こす可能性があることを医療者間で共有する</li> <li>・原疾患の進行または稀な病態の可能性が推測された。</li> </ul>
計	247	254	

\*1 バイタルサイン(生命徴候): 脈拍、呼吸、体温、血圧などのこと。

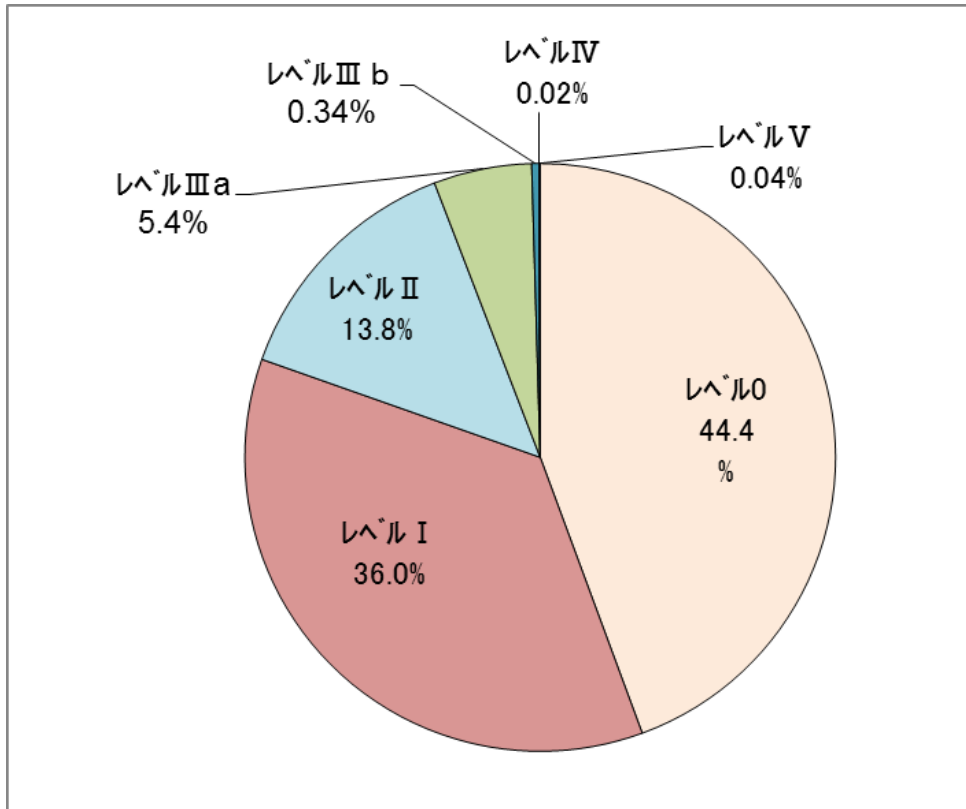
\*2 皮下埋め込み型中心静脈ポート: 中心静脈カテーテルの一種で薬剤投与に用いられる。100円硬貨程度の大きさの本体とカテーテルにより構成され、通常、鎖骨の下の血管からカテーテルを挿入し、前胸部の皮下に本体を埋め込む。カテーテルの先端は、心臓近くの太い静脈に留置される。

\*3 循環不全: 体全体に血液を巡らせる機能が低下し、組織が必要な酸素供給がされなくなった状態のこと。

## 平成 29 年度に発生したインシデント・アクシデントレベル別割合及び種類別割合

### 1 レベル別割合

【図 1】



### 2 種類別割合

【図 2】

